Vol.25　色々なコード・ヴォイシングを弾いてみる　～その 2～

『10 分トレ』vol.25、始めていきましょう。

前回に引き続き、ヴォイシングについて研究していきます。

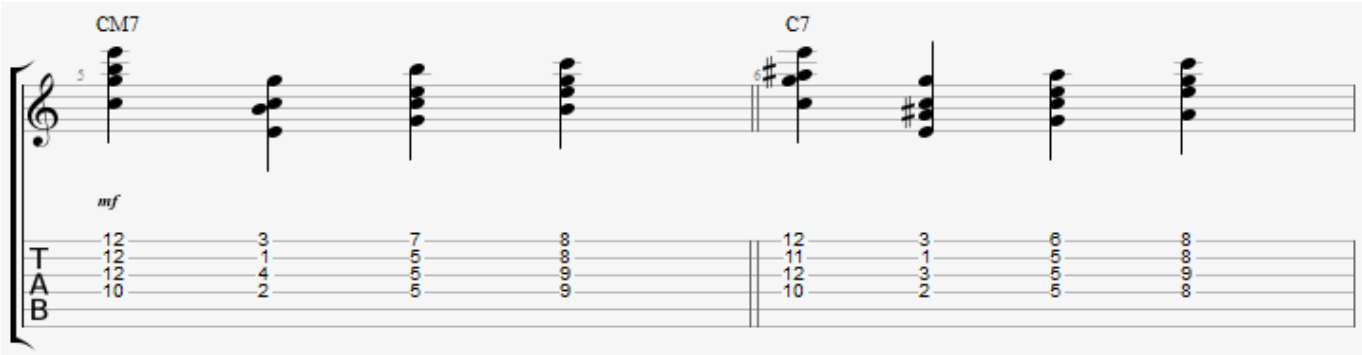
やっている事としては、『4 和音(セブンスコード)の展開形』ですね。

実はこれは、【教科書】の vol.10 位から、トライアドで一度やっている事だったりします。

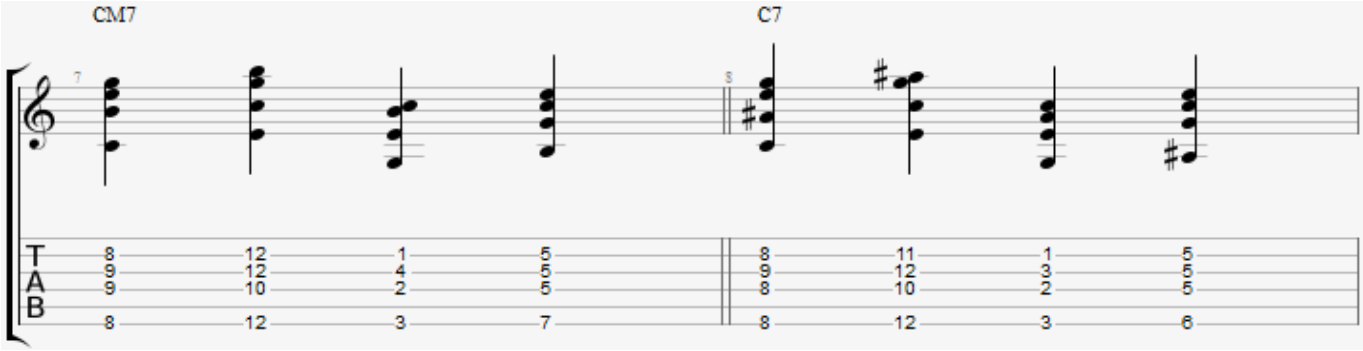
その「セブンスコード版」だと思えば、わかりやすくなるのではないでしょうか。

では、前回、基本的な動き方の構造も解説したので、今回は 4 弦ルートと 6 弦ルートの 2 つのパターンを見ていきましょう。

譜例 1、4 弦ルート、CM7&C7 展開形



譜例 2、6 弦ルート、CM7&C7 展開形



さて、前回やった 5 弦ルートのヴォイシングよりも、比較的使いやすそうなものが多くなった気がしますね。

実際、僕の配布しているテキストのどこかで、近しいものを紹介している時もあったはずです。

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

基本的には、展開したものほど響きが複雑になる傾向にあるので、楽曲の中で使う場合は、全体の雰囲気を損ねない様に気を付けましょう。

どちらかと言うと、4 弦ルートのヴォイシングの方が、気兼ね無く使えそうですね。
良いタイミングがあれば、自分のオリジナル曲やバンドなどで試してみて下さい。

ちなみに、今回は 12 フレットを超えた辺りから、オクターブ下で弾く譜例にしてあるので、同じヴォイシングをハイポジションで鳴らすのに現実性を感じるものは、そちらも弾いておきましょう。

では、また次回に続きます。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved